

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.6</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>					<b>2.8</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.8</b>	0.15	<b>3.0</b>	1.00			<b>2.9</b>
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40			
1.2 遮音		2.6	0.40	3.0	0.40			
1 開口部遮音性能	遮音性能等級T-2の建具を採用	5.0	0.40	5.0	0.30			
2 界壁遮音性能		1.0	0.60	1.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	0.20			
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	0.20			
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.3</b>	0.35	<b>2.0</b>	1.00			<b>2.1</b>
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50			
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57			
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38					
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	0.20			
2.3 空調方式		2.0	0.30	1.0	0.30			
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.7</b>	0.25	<b>3.3</b>	1.00			<b>2.9</b>
3.1 昼光利用		3.0	0.30	4.2	0.30			
1 昼光率	食堂の昼光率4.063%、居室の昼光率4.936%	3.0	0.60	5.0	0.60			
2 方位別開口								
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40			
3.2 グレア対策		2.0	0.30	3.0	0.30			
1 昼光制御		2.0	1.00	3.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25			
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.5</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00			<b>3.5</b>
4.1 発生源対策		4.0	0.50	4.0	0.63			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆建材を全面的に使用	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策								
4.2 換気		3.0	0.30	3.0	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能				3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.3 運用管理		3.0	0.20					
1 CO <sub>2</sub> の監視								
2 喫煙の制御		3.0	1.00					
<b>Q2 サービス性能</b>			<b>0.30</b>					<b>2.9</b>
<b>1 機能性</b>		<b>2.4</b>	0.40	<b>3.8</b>	1.00			<b>3.0</b>
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60			
1 広さ・収納性	個室18.0㎡以上			5.0	1.00			
2 高度情報通信設備対応								
3 バリアフリー計画		3.0	1.00					
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40			
1 広さ感・景観		3.0		3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース								
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50			
1.3 維持管理		3.0	0.30					
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50					
3 躯体管理業務								
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.8</b>	0.30					<b>2.8</b>
2.1 耐震・免震		3.0	0.50					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		2.8	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20					

2.4 信頼性	1 空調・換気設備		2.6	0.20	-	-	
	2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
	3 電気設備		2.0	0.20	-	-	
	4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性		3.2	0.30	2.6	1.00	2.9	
3.1 空間のゆとり		3.4	0.30	2.2	0.50		
1 階高のゆとり		3.0	0.60	1.0	0.60		
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率: 共用部0.28、住居部0.279	4.0	0.40	4.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	3.0	0.50		
3.3 設備の更新性		3.4	0.40	-	-		
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-		
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-		
3 電気配線の更新性	EPSの設置、保護管による配線、天井点検口の設置	5.0	0.10	-	-		
4 通信配線の更新性	EPSの設置、保護管による配線、天井点検口の設置	5.0	0.10	-	-		
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-		
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.2	
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	-	2.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.1	
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	3.5	
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI <sub>m</sub> =0.74	4.0	0.20	-	-	4.0	
2 自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化	BEI 非住宅 0.89 住宅(専有部) 0.83	4.0	0.50	-	-	4.0	
集合住宅以外の評価(3a.3b)	BEI <sub>m</sub> =0.89、LED照明設備を採用	4.0	1.00	-	-		
集合住宅の評価(3c)		-	-	-	-		
4 効率的運用		2.0	0.20	-	-	2.0	
集合住宅以外の評価		2.0	1.00	-	-		
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-		
4.2 運用管理体制		1.0	0.50	-	-		
集合住宅の評価		-	-	-	-		
4.1 モニタリング		-	-	-	-		
4.2 運用管理体制		-	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.7	
1 水資源保護		3.0	0.20	-	-	3.0	
1.1 節水		3.0	0.40	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-		
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減		2.6	0.60	-	-	2.6	
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用	4.0	0.20	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20	-	-	3.0	
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-		
1 消火剤		-	-	-	-		
2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-		
3 冷媒		3.0	0.50	-	-		
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.1	
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率=91%	3.3	0.33	-	-	3.3	
2 地域環境への配慮		2.9	0.33	-	-	2.9	
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.7	0.25	-	-		
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-		
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-		
3 交通負荷抑制	駐輪場、駐車場及び荷捌き用車両の駐車施設確保	4.0	0.25	-	-		
4 廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-		
3 周辺環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-		
1 騒音		3.0	1.00	-	-		
2 振動		-	-	-	-		
3 悪臭		-	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-		
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-		
2 砂塵の抑制		-	-	-	-		
3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-		
3.3 光害の抑制		3.7	0.20	-	-		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明を行っていない	4.0	0.70	-	-		
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-		